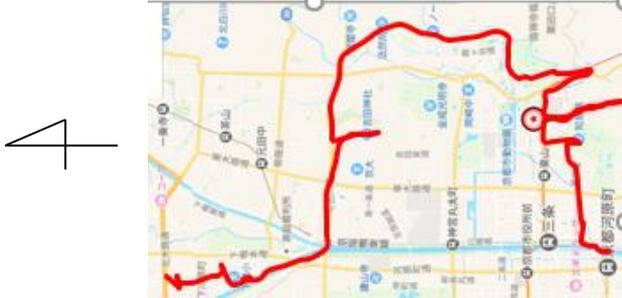


3月30日

京都東山周辺

藤村 敏幸

山名	京都東山周辺	山行名	東山桜観賞ハイク
ルート	京都四条一→円山公園一→将軍塚一→哲学の道一→吉田山一→植物園		
山行日	令和2年3月30日	天候	曇り
参加者	CL 藤村 上田 伊藤多恵子 西川敏彦 竹原絹栄 木元 大林		

	コースタイム			
	地名	時:分	吉田神社着	12:00
	四条駅出発	8:00	吉田神社発	12:45
	将軍塚着	9:30	植物園着	14:00
	将軍塚発	9:45	植物園発	14:40

一週間前の花見予想では29日に満開でしたが、旧会誌部員の皆さんの都合を聞き一番参加者が多い30日に実施した。知恩院の入口から三門までは時節柄人もいなく、ゆっくりと静かに鑑賞できた。円山公園も閑散としており、シンボルである枝垂れ桜は満開で、何年か前にこの桜を見た時は、幹に白い薬剤が塗られ、咲く花も少なく哀れな老木の感じでしたが、今年は往年の姿を彷彿させるように威勢よく咲いていた。青蓮院門跡前の巨大な楠木の1本が大きく枝を掃われ見上げれば空が広くなり、西側にはマンシヨンが建ち昔の土塀もなくなり風景が様変わりしていた。将軍塚も桜の名所として案内されていたので栗田神社横から登るが、頂上には想像していたほど桜がなく、東山界限を眺め下山する。南禅寺から北に上がる途中で横道に入ると見事な枝垂れ桜が連なる道がある。哲学の道には満開の桜並木が銀閣寺前まで延々と続いていた。吉田山の頂上で昼食とし、大文字山を見ながら上田さんから草餅、大林さんから土筆の卵とじ料理等を御馳走になる。出町柳からは、賀茂川の河川敷を、植物園まで続く堤防の桜を見上げながら、川の流れを聞き、世間話の花を咲かせながら歩く。植物園内の染井吉野は空を覆いつくすほど満開である。

紅枝垂れ桜は蕾がすこし膨らむ程度である。桜以外にも山つつじ・西洋シャクナゲ・寒椿・チューリップ・桃・木瓜等の花が満開で、見事な景色をみる。誰かが「今日一日で1年分の花を見ることができた。」と話していた。忙しい中参加していただいた皆様有難うございました。



ヒヤリハット 無し